

第64回全英連全国大会  
全英連秋田大会

第2日目 平成26年11月8日(土) 分科会  
発表テーマ及び補足説明

◆秋田大会2日目は、会場を「国際教養大学」Akita International University (AIU) へと移します。

◆第1部で10分科会、第2部で11分科会、全21分科会を行う予定です。

◆東北6県の優れた英語教育実践が集結します。

大会テーマ「あきた発！未来へつなぐ英語教育～小・中・高・大・産の連携を目指して～」に沿った分科会や、小中高授業実演者による分科会があります。その他の分科会では、「対話」「スピーキング・テスト」「思考力」「CAN-DO」「多読」「中高一貫」「専門高等学校」などのキーワードが並び、意欲的に教育実践に取り組んでいる地域、学校、先生方が、全国へ向けて発信します。

◆各分科会のテーマと補足説明は、以下を御覧ください。

番号	発表者	テーマ	補足説明
11	五十嵐 環 (秋田市立牛島小学校) 【秋田県】	■小学校授業実演者■ 「聞きたい！」「話したい！」という意欲を高める単元の探究	小学校外国語活動は、外国語を学ぶ入門期として重要であり、「やってみよう」という意欲はこれからの学習を支える軸になると考える。小学生の発達段階からみて、「見たい」「知りたい」「聞きたい」「話したい」「やってみよう」という子どもの気持ちを大切に、五感を使った活動は有効である。そこで、様々な「～したい」という気持ちを生かした単元・授業作りをしていくうえで、コミュニケーションに必要な2つの要素をテーマとして掲げた。
12	吉澤 孝幸 (大仙市立大曲中学校) 【秋田県】	Classroom-Oriented Research: Developing Teaching based on the CAN-DO Statements 【使用言語は英語】	これまでの授業を振り返ると、「対訳を通しての英文理解」や「暗記によるスピーキング」を中心とする手法が問題点として浮かび上がってきた。このような現状から脱却するための足がかりとして、CAN-DOリスト形式の到達目標を活用する授業を実施した。また、教育専門監として、それらを地域の学校に波及させる取組を中心に、お話ししたい。  * 教育専門監: 秋田県教育委員会が、学校の教育力を高めるために平成17年度から認定している。勤務校における教育活動のほか、自らの教育実践を公開し、要請に応じて研究会や近隣の学校で指導や助言を行う。
13	竹中 亜木子 (いわき市立川部中学校) 【福島県】	Nurturing Communication : Devising Ways to Enhance Communicativity 【使用言語は英語】	Communicativity means the ability to convey one's opinions. The Course of Study says that fostering a positive attitude toward communication through foreign languages is the overall objective. In my case, I help the students' communicativity by nurturing communication, using many kinds of communicative activities, basic learning games and so on.
14	山田 健介 (南陽市立沖郷中学校) 【山形県】	基礎基本の向こう側 ～楽しさと感動で身につける中学英語～	基礎基本を身につけるための 苦しさの中の楽しさが湧き起こす、元気と勇気。 基礎基本の先にある感動が、中学生の魂を揺さぶる。 中学英語の基礎基本を徹底すれば、何ができるようになるのか。また、そのための方法とは？ 東北の、ごく普通の英語教師とごく普通の中学生の、熱き記録！
15	伊藤 茂樹 (花巻市立花巻中学校) 【岩手県】	学習意欲を高めるための指導の工夫 ～Speaking活動を重視した取組から～	昨年度、本校に赴任し、出会ったのは英語に対しての学習意欲の低い3年生でした。彼らの学習意欲を高めるため、Speaking活動を中心に様々な手を尽くし1年間共に英語学習に励みました。成功例や失敗例を紹介しながら、皆様とアイデアを共有し学習意欲を高める指導について考える場にてできたらと思います。
16	深沢 志保 打川 史子 (秋田県立秋田南高等学校) 【秋田県】	■高等学校授業実演者■ コミュニケーション活動を通して、思考力を高めあう英語の授業の在り方	学んだ内容に関して自分の考えを整理して表現し、さらに相手の考えを聞くことにより思考力を高める活動を目指している。ペアやグループワークを活用しながら、対話を通じた学び合いについて報告する。
17	木村 太郎 (秋田県立由利工業高等学校) 加藤 雅仁 (秋田県立秋田高等学校) 【秋田県】	How can we apply "meaning-focused learning" to daily lessons? 【使用言語は英語】	1st: The first presenter will show how he provides students with "meaning-focused input" in daily lessons.  2nd: The second presenter will explain the improvement of students' output in English by applying "meaning-focused learning" to daily lessons.
18	堤 孝 (青森県立田名部高等学校) 【青森県】	“持続可能な”コミュニケーション英語 I・II の授業モデル: TANABU Model 2014	訳読に頼らず、無理なく英語で授業を行うように考えたモデルです。①教科書の内容に関して、最終タスク(パフォーマンス・テスト)を行う課。②リテリングで終わる課。③読解力診断テストを行う課。④リスニングに特化した課。レッスンごとに上記の4パターンから成り、教科書の全ての課を扱う工夫をしています。
19	山口 有子 (宮城県泉高等学校) 【宮城県】	学習意欲を高める指導の工夫	本校では、新学習指導要領に沿って「英語による授業」を実施している。授業の作成に当たっては、4技能統合型の授業におけるスピーキング能力の指導と評価をテーマに定め、定期考査の出題に工夫を施したり、スピーキングテストを定期的実施したりすることによって、生徒の学習意欲の向上を図っている。普段の授業では、ペアワークやグループ活動を多く取り入れ、生徒が活発に英語での表現活動ができるように工夫している。
20	山田 美穂子 (秋田県立秋田工業高等学校) 高橋 守 (秋田県立大学) 【秋田県】	【秋田工業高校】 工業高校での英語指導 ～秋田県英語授業改善プログラム拠点校指定を経て～  【秋田県立大学】 工学系学生への口頭発表技能と多読の指導	平成24年度から25年度にかけて英語教育の拠点校としての指定を受け、様々な試みを行いました。時間的な制約が大きい工業高校において効果的に英語の指導を進めていくにはどうしたらいいのか、共に考えるきっかけになればと思っています。  工学系専攻の学生に英語の面白さを体験させ、一人一人に英語の学習習慣を身につけさせることが、この取組の目標です。授業では、自分の考えを英語で発表させたり、継続的に英文読書が続けられています。

11:20 ~ 12:50 第2部

番号	発表者	テーマ	概要
21	田口 倫 (大仙市立横堀小学校) 佐藤 文子 (大仙市立仙北中学校) 【秋田県】	小学校外国語活動及び外国語科を軸にした小・中連携の在り方	児童生徒のコミュニケーションに対する意欲や表現力の向上及び中1ギャップの解消を図るための円滑な接続はどうあればよいか。
22	戸嶋 里枝子 (秋田市立秋田東中学校) 【秋田県】	■中学校授業実演者■ 対話力を向上させるコミュニケーション活動の在り方	～Purpose of Communicationを意識した授業をめざして～ 小学校外国語活動で培ったコミュニケーション能力の素地を、より自然に運用できるようにするために、活動の形態や内容を工夫してきた。何よりも重要なことは、生徒が失敗を恐れずに自信をもって自分の意見を発表することである。その対話力を向上させるために行ってきた指導実践を紹介したい。
23	猪股 正信 (由利本荘市立本荘南中学校) 【秋田県】	英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組 ～秋田県英語授業改善プログラム指定校としての実践から～	指定を受けた2年間で実践研究した、CAN-DOリスト形式で設定した学習到達目標やその達成状況を測るスピーキングテスト、ライティングテストなどの実施方法やその評価方法について、皆さんと共に考えてみたいと思います。
24	大野 理智子 (湯沢市立山田中学校) 【秋田県】	生き生きとコミュニケーションする生徒を育てる授業の在り方 ～Repeat after me.をTell me more.へ～	不定詞の導入に最適な「場面」を生徒目線で考えると？現在完了形は？学習指導要領では文法事項を「場面」で導入することにより、言語活動と効果的に関連づけることが求められている。しかし、生徒にとって身近で意味のある言語活動の場面を考えるのは簡単ではない。本分科会では文法ごとのお薦めの場面、生徒が書いた英文、そしてそれをどのように技能統合させて生きたコミュニケーション場面をつくり出していくのかを、授業の映像も交えながら紹介したい。また、それを支える学習集団づくりのコツも紹介したいと考えている。
25	中村里 美 (八戸市立長者中学校) 【青森県】	基礎・基本の徹底を図る指導の工夫 ～『学び合い』を取り入れた指導を通して～	基礎・基本の徹底を図るための手立てとして、本校で行っている『学び合い』を取り入れた授業実践について発表します。この『学び合い』とは、授業で与えられた課題に向かい、生徒同士がお互いに教え合い学び合う授業形態のことです。クラス全員が課題を達成するために活発に学び合う様子などを交えて紹介いたします。
26	會田 晋一 (石巻市立雄勝中学校) 【宮城県】	自分の考えを持ち、表現しようとする生徒を育てる指導の工夫 ～読み物教材を通して～	本研究は、英語による口頭導入を内容理解の段階、自分の考えを引き出す段階に分け、書かれた内容を理解させるとともに、読み取った内容に対して興味を喚起し、自分の考えを表現しようとする生徒を育てる指導の一試みである。
27	藤田 義人 (秋田県立横手清陵学院中学校・高等学校) 大須賀 弥生 (秋田市立御所野学院中学校・高等学校) 【秋田県】	【横手清陵学院中学校・高等学校】 学習と指導に新たな視点を加える評価方法の工夫 ～定期考査における中高連携～ 【御所野学院中学校・高等学校】 達成感につながる学習習慣づくりと中高連携の取組	(1)実践に関する理論的背景と具体的手立ての提示。(2)実践前後での学習・指導に対する意識や取組の変容を「感覚として」お伝えするための、実践に関わった高校2年生2名と中学校3年生2名、教員1名と参加者の皆様との質疑応答。(3)CEFR-Jを基に作成したCAN-DOリストの現実的な活用方法についての紹介。 本校では、国際教養大学の協力により夏期休業中に2泊3日でEnglish Camp(中高の希望者が参加)を実施している。この中に、思いついたことを既知の語句・文法で表現するトレーニングがあり、これを授業で継続して指導する。意欲的にコミュニケーションを図ろうとする生徒の育成という観点から、指導手順とその様子・効果をビデオも交えて紹介する。
28	横木 由紀枝 (福島県立本宮高等学校) 【福島県】	What is important to keep the low-motivated students interested in English lessons? 【使用言語は英語】	英語に対する苦手意識が強く、学習の成果を実感できずにいる生徒が多い学校で、諦めずに学習に取り組ませるために何が必要かについて考えます。特に、音読を多く取り入れてきましたが、その成果について考察します。
29	金谷 憲 (東京学芸大学 名誉教授) 鈴木 加奈子 (山形県立鶴岡中央高等学校) 【山形県】	『教科書を2度使う』 ～山形スピークアウト方式の実践～	「Speak Out」とは、「1度使った教科書を次の年にもう1度使う」という試みです。1年目には教科書の英文に触れ、英語を頭に取り入れることを目的とし、それを2年目(学習2回目)には、Outputをゴールにして再度教科書を使います。プレゼンテーションやスキット、ディベートなどの表現活動をゴールにすることで、自分が使うために英文を取り込む、という意識が生まれ、内容理解も深まり、Inputがより意味のあるものとなります。また、自分が使うために英文を取り込むので、英語が頭に残りやすく定着が高まります。その具体的な指導方法や評価の仕方等について報告します。
30	松尾 美幸 (岩手県立福岡高等学校) 【岩手県】	学習意欲を高める指導の工夫 ～“Yes, we CAN-DO it!”と言える基礎づくり～	学習意欲を高めるための授業設計はどうあるべきか。そのために設定したはずの『CAN-DOリスト』の形で学習到達目標は、はたして生徒たちが“Yes, I CAN DO it!”と言える指導に十分に活用されているだろうか。言語使用への動機付けや内省力を促す方策についても併せて考えてみたい。
31	Patrick Dougherty 長沼 奈絵子 (国際教養大学) 【秋田県】	What EAP Offers at Akita International University: What, How, and Why 【使用言語は英語】	EAP (English for Academic Purposes) offers a variety of courses at Akita International University (AIU). Since AIU is an English-medium university, acquiring adequate language skills is a must for all students. The presenter will explain what we teach in EAP courses, how we teach our courses, and why we teach our courses in certain ways. Detailed descriptions of EAP courses with example materials will be shared in the presentation.